

4月の政治・経済イベント

重要 01 米中貿易・経済協議

米中間の貿易・経済協議は、3月中に米中首脳会談を行なって最終合意を目指すとしていましたが、中国の産業保護政策などの構造問題の決着がつかず、先送りとなりました。今後も交渉が続く模様ですが、いつ最終合意に至るのか、合意がどのような内容となるのか、米中双方で関税が引き下げられるのか、合意によって米中間や世界的に貿易が再活発化するのか、といった様々な点が注目されます。

重要 02 米国の債券利回り

最近、米国の中長期債券利回りが短期金利を下回る所まで低下したことが、景気後退の兆候かという点について議論が高まっています。景気鈍化による金利低下予想が強まったから債券利回りが下がったという見方では、警戒すべき動きと言えます。一方、FRB（米連邦準備制度理事会）がハト派に傾いたことで債券利回りが下がったという見方に立てば、景気の悪材料ではないでしょう。経済指標の発表などに伴う債券利回りの変動と、株式・為替市場への影響が注目されます。

重要 03 日本の景気動向

日本では年明けに輸出や鉱工業生産が急減するなど、製造業の景気悪化の兆候が強まる一方、内需に支えられて非製造業は概ね堅調なようです。非製造業がしっかりしているうちに製造業が勢いを取り戻すのか、製造業の鈍化が非製造業にも波及するのか、重要な分岐点にさしかかっています。その行方を占う上で、日銀短観、鉱工業生産指数、小売売上高などの動向が注目されます。

4月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(月)	日本 	3月調査日銀短観
5日(金)	米国 	雇用統計（3月）
12日(金)	中国 	貿易収支（3月）
12日頃	中国 	マネーサプライ、社会資金調達金額（3月）
17日(水)	中国 	1-3月期GDP、鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（3月）
25日(木)	日本 	金融政策発表
26日(金)	日本 	失業率、有効求人倍率、鉱工業生産指数、小売売上高（3月）
26日(金)	米国 	1-3月期GDP（速報値）
29日(月)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター（3月）
30日(火)	ユーロ圏 	1-3月期GDP（速報値）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。